

市町村名	南風原町							
平成 2 4 年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	2－⑥	物産と食開発プロジェクト			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－3－(9)－イ		
担当部課名	経済建設部 まちづくり振興課	事業実施(予定)年度	平成 2 4 ～ 2 6 年度	沖縄振興基本方針該当箇所	ものづくり産業の振興と地域ブランドの形成			
事業内容	本町の特産品のへちま、ストレリチア(極楽鳥花)、かぼちゃ、スターフルーツ、はえばる豚等を活かした「南風原町らしいグルメ」の開発のため、物産展・グルメコンテストを行う。							
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他（ ）							
予算額・執行額【単位:千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）			24年度	25年度	26年度	27年度		
	予算の状況	(a) 当初予算額	3,772					
		(b) 予算現額	3,772					
		(c) 増減額 (b-a)	0					
		(d) 前年度繰越額	－					
		A. 計 (b+d)	3,772					
	B. 執行済額		3,734					
	うち交付金充当額		2,987					
	次年度繰越額		0					
	執行率（％）(B/A)		99.0%					
予算の状況の説明		予算は計画とおりに執行し、事業を円滑に行うことができた。						
活動目標（指標）及び達成状況	H24活動目標（指標）			達成状況				
				24年度	25年度	26年度	27年度	
	物産展・グルメコンテスト開催:1回	目 標	(1回)	()	()	()	()	
		実 績	1回					
		目 標	()	()	()	()	()	
		実 績						
達成状況説明	南風原町物産展とグルメコンテストを行い、飲食業、農業、小売業が連携し、物産の販売、特産品を使った新しいメニューを誕生させた。							
成果目標（指標）及び進捗状況	H24成果目標（指標）			基準値(23年度)	25年度	26年度	26年度	目標値(27年度)
	「南風原町らしいグルメ」の開発	目 標	()	(4品)	()	()	()	()
		実 績		8品				
	【参考指標】 グルメコンテスト終了後、町内飲食店でメニュー化された商品の販売数(スタミナ黄金そば)	目 標	()	()	(1000食)	(1200食)	(1500食)	
		実 績				約2000食	約1300食	約1300食
	進捗状況説明	・グルメコンテストを平成25年3月3日、4日に開催した。生活研究会、町内飲食店、NPO法人等8店舗が出店し、南風原の特産品を使用したメニューが8品できた。その中で、現在町内飲食店でレギュラーメニューとして出されている商品は、南風原産のカボチャを麺に練り込んだ「スタミナ黄金そば」のみである。そのほかの7品については、飲食店でのメニュー化には至らなかったものの、南風原町の特産品を使用したグルメを模索するきっかけになった。 ・「スタミナ黄金そば」については、グルメコンテスト後に商品化に向けて取り組み、店頭での販売は平成25年度からとなっておりますが、販売実績が減少しているため、メニューの広報活動を行う必要がある。 ・H27年度のスタミナ黄金そばの販売数は前年と同様の実績となっており、今後販売数を伸ばしていく更なる周知活動を行う必要がある。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・グルメコンテストで8つの出店者が各々のメニューを出品したが、現在もしギョーメニューで出されているのは「スタミナ黄金そば」のみである。町の特産品を活用したメニューとして継続販売できるよう町内外の方に対してPR活動を行う必要がある。 ・目標に掲げているスタミナ黄金そばの食数を達成するために、販売店や町商工会、観光協会等との連携が必要である。 ・メニュー化に至らなかった7品について、町のイベント等を活用し出品できるような態勢づくりが必要である。 ・黄金そばの販売実績が未達成となっている理由として、商品の広報不足や、イベントへの出展機会の減少が考えられる。	・販売店や町商工会、観光協会等との連携を強化し、南風原町の特産品を使用したグルメの情報を発信できる態勢づくりを進めていく。 ・メニュー化に至らなかった7品については、町の物産展等のイベントにおいて出品できるよう、事業者への呼びかけをおこない、南風原町の特産品を知ってもらう取組を検討する。 ・「スタミナ黄金そば」については、メニューの認知度向上のために各種イベントで出品したり、様々なメディアを用いて広報するなど、南風原町の特産品であるかぼちゃを使用したグルメであることをさらに周知させ、町内外へのPR活動を推進する。 ・H27年度末頃に町内飲食店等を紹介するリーフレットを作成し、町内外の様々なスポットで配布を行っており、今後の販売数の伸びに期待したい。
今後の取り組み方針 ・グルメコンテストによって発掘されたメニューを多くの方に知ってもらい、南風原町へ訪れるきっかけになるよう、行政、販売店、商工会、観光協会が連携し、飲食店の情報が記載されたパンフレットの作成・配布や、インターネット・SNS等を活用し、広報を推進していく。 ・メニュー化に至らなかった7品については、町の物産展等のイベント時に出品できるよう、事業者への呼びかけをおこない、南風原町の特産品を利用したグルメが数多く食べられるような態勢を推進していく。 ・「スタミナ黄金そば」について、町内外への広報活動を行い、南風原町の特産品を使用したグルメが食べられる飲食店として周知をおこなうなど、南風原グルメとしての定着を図っていく。また様々なイベントへの出展機会を増やし、更なるPRを図れるよう、販売店舗への情報提供や周知をおこなっていく。		

資金の流れ						
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)						
		総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
		3,734	3,734	2,987	747	

南風原町
3,734千円

委託料
3,734千円

南風原町商工会
3,734千円

物産と食開発プロジェクト委託料

資金の 使途の 流れ、 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	■観光協会の準備室である地域観光まちづくり推進室に委託したことにより、観光協会と地域が協働でまちづくりに参加することができた。 ■費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	